

< 機械・農作業の共同化に取り組む事例 >

機械の共同化と管理組合による持続可能な農業への取組

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県岩国市・竹安			
協定面積 20.2ha	田 (99.5%)	畑 (0.5%)	草地	採草放牧地
	水稲	野菜		
交付金額 414万円	個人配分			49%
	共同取組活動 (51%)	役員報酬等		4%
		農地維持管理費		5%
		水路・農道維持管理費		6%
		共同機械修繕整備費等		18%
事務費等		18%		
協定参加者	農業者 55人、非農業者 0人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

竹安集落は岩国市南河内地域の西部に位置しており、農家の高齢化、基盤整備の遅れ、鳥獣被害による生産意欲の低下といった状況から、遊休農地が増加傾向にあった。

集落において、ふるさとの農地を守っていききたいという思いから、第1期より昔から結びつきのある隣接の集落（大山、伊房）と連携し、中山間直支制度を活用した地域の活性化に取り組んでいる。また、取り組みを更に進めるため、第3期対策から協定農用地を約1.6ha拡大した。

3. 取組の内容

平成21年度に共同利用の大型機械を導入し、作業の効率化や農家の負担低減を図るとともに、将来的には水稲栽培における機械の共同化を目指している。

また、当該地域の遊休農地の維持管理を地元管理組合が実施し、草刈り作業で出た草を堆肥化して農地へ還元する活動にも取り組んでいる。

今後、当該地域で基盤整備事業が実施される予定であり、農作業効率が向上するものと期待されている。

このような地域農業の活性化を契機として、暮らしの安全性、快適性といった生活環境面の整備を進めていきたい。



【導入した大型機械】



【共同取組活動後の集合写真】

[集落の将来像]

集落ぐるみで農業生産活動等を継続する



[将来像を実現するための活動目標]

農業機械の共同化や地元管理組合の農作業支援活動により、持続可能な農業生産活動等に取り組むとともに、協定農用地を拡大して耕作放棄地の拡大防止を図る。

[活動内容]

農業生産活動等

農地の耕作・管理 (19.3ha)

個別対応

農地の維持管理 (0.9ha)

- ・草刈り年2回、耕運水路・農道の管理
- ・水路4km、年2回
- ・農道2km、年2回

共同取組活動

農地法面の定期的な点検
(年2回及び随時)

共同取組活動

土地改良事業(約18.4ha)

共同取組活動

多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り
(約0.6ha 随時)

共同取組活動

景観作物作付け
(集落内の花壇に年間を通じた花の植え付け、紫陽花花壇、桜並木の管理、休耕田を利用した菜の花の植え付け)

共同取組活動

農業生産活動の体制整備

協定農用地の拡大
(目標1ha)

共同取組活動

機械農作業の共同化
(目標2.1ha)

共同取組活動

組織対応型による農業生産活動等の継続

竹安管理組合

4. 今後の課題等

担い手の確保、事務負担の軽減

[第2期対策の主な成果]

第2期対策は南河内8地区の内の1ブロックとして取り組む

竹安ブロック内約0.6haの耕作放棄地を復旧

共同利用機械の導入

地域の伝統行事「とんど祭り」の復活、地域の子どもの交流

集落での話し合いの機会が増加